

平成30年度京都府立峰山高等学校学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>○ 京都府北部の中核校として、伝統を継承しながら高い理想を求め続け、地域に信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>○ 教育スローガン（校是）、教育方針、教育目標及び求める生徒像の具現化のため、全教職員が一体となって取り組む。</p> <p>○ 全教育活動を通して、生徒と教職員が共に成就感と感動を味わえる、明るくさわやかな学校づくりに努める。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートはほとんどの項目で目標値を達成した。生徒対象「入学して良かった」、保護者対象「入学させて良かった」はそれぞれ97%、95%という高い肯定的回答を得ており、特に積極的な肯定率が上昇した。</li> <li>・特色化事業への参加者は概ね目標値を達成できた。各種取組を通して学問への興味・関心が高まるとともに国際理解が深まった。</li> <li>・遅刻者数、自主学习時間、授業満足度のいずれも目標値を達成した。特に、遅刻者数は目標を大きく上回った。</li> <li>・毎朝の教職員による校門指導、校内での普段からの声かけ、生徒会を中心とした各種取組等を通して、全体に規律ある学校生活が維持できた。</li> <li>・早期からの計画的な就職指導が功を奏し、公務員3名合格、民間企業就職内定率100%を達成した。</li> <li>・国公立四大へは推薦・AO入試8名を含め、延べ42名が合格した。</li> <li>・生徒による清掃点検等の取組を通して、美化意識の向上が見られた。</li> <li>・積極的なスクールカウンセラーの活用と情報共有により支援が必要な生徒等への対応が進んだ。</li> <li>・図書に親しむ活動や読書の時間等、利用者が増える工夫がされている。</li> <li>・峰高だより、ホームページ等に加え、中学生向けのインフォメーションを創刊し、家庭・地域に加えて中学生向けの広報活動を質・量ともに充実させた。</li> <li>・各種行事に多くの保護者の参加があり、学校への関心の高さが窺われた。</li> <li>・産業工学科インターンシップの充実、関連企業や関連機関・大学等との連携強化、弥栄分校との課題研究合同発表会の開催、中学生向け広報活動の強化などを通して、特色ある専門学科づくりを進展させた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点目標及び具体的方策の焦点化と目標値の検討</li> <li>・特色化事業の周知方法の工夫と多様な人材の活用</li> <li>・新しい学力観に即した探究的な学習の企画・運営と教育環境の整備</li> <li>・学力中間層生徒の学力向上に向けた具体的方策</li> <li>・主体的に学ぶ姿勢を育てるための授業改善に向けた組織的取組</li> <li>・校内外の規範意識の更なる向上</li> <li>・部活動の加入率と定着率の向上及び学習との両立に向けた環境整備</li> <li>・学年部、教務部、各教科担当と連携強化した進路指導</li> <li>・日常指導における自尊感情の涵養と美化意識の更なる向上</li> <li>・図書館の多角的な利用の推進</li> <li>・タイムリーな情報発信に向けた体制整備と家庭・地域との更なる連携</li> <li>・アカデミック・インターシップ（大学進学希望者向けのインターシップ）の充実</li> <li>・学科改編に向けた地元企業・諸団体との連携強化</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 希望進路の実現につながる質の高い学力の定着と課外活動との両立</li> <li>2 地域との連携によるキャリア教育の充実と郷土愛の醸成</li> <li>3 高い志と柔軟な国際感覚を持ち社会に貢献できる人材の育成</li> </ol>

※評価は4段階とし、A～Dの記号で表記する。

A：十分達成できた B：ほぼ達成できた C：あまり達成できなかった D：ほとんど達成できなかった

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
府立高校特色 化事業「グロ ーバルネット ワーク京都」	アカデミックミネ・プロジェクトによる学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種コンテストへの参加や検定受検、「科学の教室」への参加、高大連携事業への参加を促す。</li> <li>【コンテスト参加、検定受検人数 延べ900名以上】</li> <li>【「科学の教室」参加人数 延べ150名以上】</li> <li>【高大連携事業参加人数 延べ130名以上】</li> </ul>		
	コミュニケーション・プロジェクトによるコミュニケーション能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生や企業人、留学生との交流をする。</li> </ul>		
	コミュニティ・プロジェクトによる社会貢献意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域活動100」と題し、生徒が地域で学ぶ機会を積極的に設け、参加を促す。</li> <li>・「震災の記憶をつなぐ」の事業を発展させ、地域とのつながりを充実させる。</li> <li>【地域活動参加発信活動 1月ごとに発信 年10回以上】</li> </ul>		
学習指導	主体的学習態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務部・学年部・生徒指導部等が連携し、保護者の協力を得て、始業5分前登校を徹底させる。</li> <li>【遅刻防止週間遅刻者数：1日平均3人以下】</li> </ul>		
	教科指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が積極的に参加する授業の実現に向けて、公開授業の在り方を検討する。</li> <li>【自主学習時間 1日2時間】</li> <li>【アクティブラーニングの積極的な導入】</li> </ul>		
	総合的な学習の時間における探究的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施初年度の学習取り組み内容を計画・立案し、円滑に進める</li> <li>・探究的な活動に関わる教員人数の増加</li> <li>【教員人数30人以上】</li> <li>・学年部・授業担当者との連携を強化し、自由な発想や意見を汲み取ることのできる環境作り（職員室内でのやりとりを増やす）</li> <li>【会議を開く回数を可能な限り少なくする】</li> <li>・探究的な活動についての教職員研修会を設ける</li> <li>【年間1回以上】</li> <li>・持続的に探究活動に取り組む生徒を育てる</li> <li>【3学期授業アンケートにおいて 継続して探究活動実施したい生徒 50%以上】</li> </ul>		
生徒指導	規範意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外での携帯電話に関するルール厳守・マナー向上に務める。</li> </ul>		

		<p>【携帯電話に関する指導 50名以内】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年部をはじめ、関係分掌との連携を密にし、いじめを含む問題事象の未然防止に努める。</li> </ul> <p>【生徒指導部だより 年間20号以上発行】</p> <p>【学年会での情報交換 年間8回以上】</p>			
	特別活動の活発化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の加入率を向上させるとともに、学習と部活動の両立ができる環境を作る。</li> </ul> <p>【新入生部活動加入率 80%以上】</p> <p>【19時30分完全下校の徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会主催の活動を活発化させる。</li> </ul> <p>【学校行事以外の生徒会主催の取組 5つ以上】</p>			
進路指導	希望進路の実現	<p>教務部・学年部・各教科等との連携を強化し、生徒個々の学力・希望の実態に即した組織的な指導を行う。</p> <p>【国公立大学合格者 延べ40名以上】</p> <p>【就職内定率 100%】</p> <p>【進路検討会 年間5回以上】</p> <p>【進路担任面談 年間3回以上】</p>			
	キャリア教育の充実	<p>3年間を見通した系統的かつ体験的・実地的な活動を通して、将来を展望した主体的な行動を促す。</p> <p>【進路ガイダンス・講演会 6回以上】</p> <p>【進路体験活動参加 延べ100名以上】</p>			
人権教育	人権意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての教育活動を通じて生徒の自尊感情を高め、他者の人権を尊重する姿勢を育てる。</li> </ul> <p>【&lt;生徒アンケート&gt;「生命や人権を尊重する指導が適切」 肯定率90%以上】</p>			
家庭・地域連携	広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPや「峰高だより」において生徒の活動を広く広報できるよう、情報の共有化を強化し幅広くタイムリーな発信を目指す。</li> </ul> <p>【&lt;保護者アンケート&gt;「広報活動が充実」 肯定率80%以上】</p>			
	地域・保護者・PTAとの連携推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三者面談、PTA総会、PTA事業、学校祭等への積極的な参加を促す。</li> </ul> <p>・ツイッターを活用し、学校の様子をタイムリーに保護者に伝える。</p> <p>【&lt;保護者アンケート&gt;「家庭と担任や学校との連携」 肯定率75%以上】</p>			

図書・情報活動	図書館利用の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館を活用した授業や進路学習を支援する。</li> <li>・生徒・教職員と協力し「使える図書館」「魅力ある図書館」づくりをめざす。</li> <li>【貸出数 一人年間3冊以上で合計2,000冊以上】</li> <li>【利用者実数 300名以上】</li> </ul>			
	校内LANの適切な運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内LANの適切な管理・運用と研修により、情報を安全かつ効果的に活用し教育効果を高める。</li> <li>【校内LANにおける重大事象の発生が0件】</li> </ul>			
健康・安全指導	教職員及び生徒の美化清掃へのさらなる意識向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃点検等生徒の委員会活動を活性化させる。</li> <li>【〈生徒アンケート〉「美化、清掃が行き届いた教育環境」 肯定率85%以上】</li> </ul>			
	教育相談関係生徒の実態把握と適切な支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談会議を適切に開催し、情報交換や支援の方法について協議する。</li> <li>【定例会議 10回以上】</li> </ul>			
特色ある専門学科	地域連携の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ、企業見学等により職業指導を充実させ、地域に根差した人材の育成に繋げる。</li> <li>【2年生全員参加】【事前・事後指導5時間以上】</li> <li>【地元就職5名以上】</li> <li>・京都産業21、ポリテクカレッジ京都等近隣の職業訓練機関での実習を充実させる。</li> <li>【30時間以上】</li> <li>・校外イベント等で学科の活動を展示・発表する。</li> <li>【3件以上】</li> </ul>			

学校関係者評価委員会による評価	
-----------------	--

次年度に向けた改善の方向性	
---------------	--